

企業紹介

高度な技術力と最新設備で鑄造の「ワンストップサービス」を提供

SHINAGAWA
株式会社 品川鑄造

代表取締役社長 品川 十英
〒940-0882 長岡市宮下町420-6
TEL 0258-24-7750 FAX 0258-24-7760
URL: <http://www.nase.biz/members/shinagawa>
E-mail: shinagawa@msj.biglobe.ne.jp

業 種：鑄物
資 本 金：2,000万円
取扱品目：工作機械・産業機械の鑄物部品及び一般鑄造品・模型・機械加工

工作機械・産業機械用の構造部品の鑄造を主力とする(株)品川鑄造。永年培った高度な技術力と最新の設備を駆使し、材料・製品の多様化、軽量化など多様なニーズに対応する。2012年に創立80周年を迎える同社。ユーザーの声に耳を傾け、信頼される鑄造メーカーとして更なる躍進を目指す。

材料・製品の多様化、軽量化など、多様なニーズに応える

1932年、現社長の祖父である品川英三氏が品川鑄造所を創立。創立当初から工作機械・産業機械向けの構造部品の占める割合が高く、地元長岡の工作機械業界の発展と共に歩んできた。現在、工作機械・産業機械向けは同社全体の約75%を占める。他は半導体、産業用ポンプ、発電所、印刷機械、エレベーター、船舶の部品で、大型から小型まで多品種少量生産態勢を整える。「工作機械部品で特に求められることは、複雑で細かい形状の部品を設計通りに、かつ短時間で納入できること。材料・製品の多様化、軽量化など、ユーザーの多様なニーズに対応しています」と社長の品川十英氏は語る。



▲最新設備で多様なニーズに対応
(写真は高周波誘導炉)

鑄造に最適な素材を提案

多品種製造を可能にしているのは、同社の品質検査・研究設備が充実しているため。超音波探傷器、発光分析装置、万能試験機、硬度計などを揃え、材質に必要とされる細かい硬度設定に対応する。「永年培ったノウハウと最新設備を駆使し、必要とされる硬度に適した素材を選定します」と品川社長。鑄物材料の提案・技術的相談にも対応し、鑄造の「ワンストップサービス」を提供する。2007年から近畿大学と、より正確な硬度を出すための共同研究を行うなど、更なる研究開発にも注力している。



▲高度な鑄造技術から生み出される製品

製品完成後、発注先の指定する先へ配送

また同社のもう一つの強みは、物流センター機能を兼ね備えていること。通常、製品完成後、顧客へ納品し検品を受けるが、同社は製品完成後、顧客の指定する外注先への直接配送に対応している。顧客にとっては物流費等が大幅に削減できるが、この外注先への直接配送に対応するには確かな技術力・品質力の裏付けが必要とされる。同社は品質保証の国際規格である「ISO9001:2008」を取得しており、顧客満足度の高い品質管理態勢でニーズに応える。

その高い品質力を支えているのは、社長以下、全社員が「能力マップ」という考課表で、1人1人の技術・技能の達成度を管理し、更なる技能習得の励みとなる仕組みが整っていること。社員の公的資格の取得を奨励し、外部講習にも積極的に参加させるなど社員教育にも熱心に取り組んでいる。

また鑄物工業共同組合主催による鑄造体験教室に協力し、子供達に鑄物づくりの楽しさを知ってもらうための啓発活動にも積極的に貢献している。

これらの取組みを通じ、高度な技術力と最新設備で信頼される鑄造メーカーとして更なる躍進を目指す。



▲「鑄造のワンストップサービスを提供します」と品川社長